



## 第 41 号

平成 23 年 1 月 15 日 発行  
 日本獣医生命科学大学  
 同窓会  
 東京都武蔵野市  
 境南町 1-7-1  
 発行者 中 條 眞二郎  
 直通電話・FAX  
 0422-33-2916  
 dosokai@nvlu.ac.jp  
 母校代表電話  
 0422-31-4151 (内 326)

## 母校創立百三十周年の年を迎えて



日本獣医生命科学大学同窓会会長 中 條 眞二郎

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申しあげます。日頃は本会振興にご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

平成二十二年度は、気象観測史を大きく塗り替える猛烈な暑さに見舞われました。人も動物も熱射病に悩まされ、海水の温度上昇で熱帯の色鮮やかな魚が北上しているニュース、また最悪なことは宮崎県での口蹄疫発生でした。奇跡的に隣県に蔓延することなく終息しましたが、多くの同窓の方々が関連業務に従事され現在でも大変ご苦労されています。追い打ちになりかねない関税撤廃を目論んだ、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）とFTA（自由貿易協定）が論議され、母校出身者が従事する職域での不利益を招き兼ねない、予断を許

さない厳しい社会状況にあります。そのような中、同窓会から明るい話題を提供します。

## 無料で同窓会名簿配布

さて、この度お約束の百三十周年記念事業に掲げた、住所が明らかの方に無料で会員名簿を配布することができました。過去に発送していた冊数は約二千冊ですから、今回の印刷部数一万二千冊は同窓会始まって以来の発行部数です。

会員名簿を紐解き、同期生のなつかしい名前に目を遣り、走馬燈のように去来する懐かしい思いが鮮やかによみがえってきたのではないのでしょうか。武蔵境の青春時代にタイムスリップし感動、懐旧の情などお届けできたのではないかと想像しております。このような大きな事業ができ、同窓会として新たな歴史を積み重ねられたことに喜びを感じています。

名簿は、同窓会の大きな事業であることは云うまでもなく会員の宝です。皆様のご協力により一層良い名簿が完成したと思いますが、次回発行までに会員のご不満などの解消に努力したいと思えます。名簿は大事に扱って頂くと共に、有効に利用されることを願っています。

## 各県支部総会に参加して

全国の同窓会の方々に、母校の近況と同窓会について日頃のご支援・協力に対するお礼を直接述べたく支部会に参加させて頂いております。また、一方通行にならぬようなるべく多くの方から会に対する要望など、会の運営上参考になるご意見が頂けることは大変有り難いことです。支部運営についてはいずれの県でも、支部役員の方々の奉仕によって支部総会が開催されているのが現状で、一番苦労されるのが支部の参加者集めです。特に獣医学科以外の学科出身者の参加が少ないことに心労されています。次項に記しますが、全学科参加による同窓会の運営が理想ですから、基本的な考えのぶれがないように、会則改正を進めたいと思っています。

どの県支部総会に参加しても卒業以来何十年ぶり、学生時代と変わらぬ同窓生、貫禄がついた賢兄、品善く還暦を迎えた面々に会えること、本当に懐かしく楽しく出席させて戴いています。参加させて戴いた県

支部の皆様には、大変お世話をかけましたこと御礼を申しあげます。

## 会則改正の考え方

会則改正にあたり、現行の会則は、昭和四十九年に作られ、時代背景からして獣医学科だけの卒業生による同窓会で、二学部四学科横並びを考慮した会則の見直しを構想しています。

現行の会則を全面改正を諮るのではなく、先達が英知を注いだ意図を充分にくみ取り、根幹は残したいと考えています。

県支部会は従来通り全学科の会員が参加できる会とし、新たに各学科の部会を設置し、学科の同窓生が一同に会し、懇親を深める機会が必要かと思えます。例えば旧畜産経営学科の「畜友会」を正規に部会とし、懇親会活動を支援する。旧食品工学科に当時食品の同窓会を開催した経緯もあります。同学科同窓生が集まって旧交を温めることは、同窓生の意識高揚と意気軒昂に大きな役目を果たすものと考えます。

役員構成に言及することはありませんが、基本的には現行の制度を活用し、会長の所属学科以外の各学科から副会長（現在食品・動物学科から選出）を選出する。

代議員制による決議機関は残すが、代議員数は今後代議員会で十分に検討していきたい。実務の理事役員は現行を参考とする。

## 百三十周年記念事業

会員各位には、大学から募金のお願いが届いていると思います。募金目標額は五億円で、同窓会と父母会に対する期待が大です。高額であります。動物医療センター建設前に母校の移管問題による危機時に同窓生が見せたあの勢い、いざとなると出る母校愛の同窓生パワーを再度お願いしなければ達成できない醸金額と思います。

会員の皆様には臨床棟、教育棟に次いで再度のお願いですが、応用生命科学部(食品科学科・動物科学科)と獣医保健看護学科の教育・研究棟の新設の醸金であります。何卒ご理解賜りご支援・協力の程よろしくお願い申し上げます。この計画が遂行

## 平成二十二年度 同窓会理事会・代議員会開催

### 平成22年度日本獣医生命科学大学 同窓会代議員会が開催された

代議員会が平成22年7月24日(土)午後1時より母校B棟412講義室において開催された。

吉田事務局長の開会宣言で代議員会が開催された。当日の出席者は来賓2名、常務理事11名、理事12名、監事3名、顧問1

されますと四学科の教育・研究施設が整い学科間不平等の改善になります。今回の募金は、過去の募金と大きく異なり学生厚生施設に対する計画が盛り込まれていることです。この教育・研究棟に学生の厚生施設である武道場の併設が織り込まれ、また、西東京市にグラウンド・馬場が設置されますと悲願でありました体育関連施設が完備されることとなります。武道場で汗を流したOBには、後輩の新しい武道場での勇姿を思い、野外で活動されたクラブのOBには、広いグラウンドを走り回る後輩を思い、馬術部OBには周辺に緑の多い農場脇で嘶く馬を思い、体育関連同窓生への過分な支援協力のお願が目標達成には不可欠だと思っております。宜しく申し上げます。

名、代議員54名、オブザーバー10名であった。

中條会長および来賓(学校法人日本医科大学 学術理事長ならびに池本学長)の挨拶に続き、議長選出では埼玉県・塚田明、熊本県・福岡周孝が推薦され、承認された。書記に本学獣医保健看護学学生生口麻穂、議事録署名人に大学支部の代議員小山秀一と新井敏郎が推薦され、承認された。

### 第一号議案 平成21年度事業報告(相見総務部長)

平成21年度は、名簿の管理システムが一步前進した年度となった。

1 平成21年度代議員会開催…平成21年7月19日(日)、母校B棟第212講義室にて代議員会、むらさきにて懇親会を行った。

2 役員会及び委員会等の開催

(1)理事・監事会 1回

(2)監事会(監査) 1回

(3)常務理事会 7回

(4)会報編集会議 5回

(5)主な行事への参加 5回

3 支部強化…代議員会不参加支部に対して代議員会への参加要請

全国支部総会への派遣

20支部(後頁資料参照)

4 会報40号発行…平成22年2月10日、発送数9、794名

5 同窓会員個人情報電子化による管理体制の整備

6 第25回母校学術交流会中国・四国大会への協賛

7 会員名簿基礎資料収集のための調査…約9、900名に送付

8 大学への支援…梅野信吉賞記念盾および副賞を贈呈

9 母校で開催された第149回日本獣医学術集会(平成22年3月26日〜28日)へ

500、000円を支援

10 学生会員(準会員)への関連事業

(1)入学祝い…同窓会名入り特注USBメモリー

(2)卒業祝い…卒業生の個人名入りペーパーウェイト

(3)同窓会褒賞…各学科の卒業生1名、計4名に授与

(4)大学祭への支援

(5)就職支援活動

第二号議案 平成21年度一般会計収支計算書(寺田経理部長)

収入の部…資料参照  
支出の部…資料参照



議事



**平成21年度会計監査報告（乗本卓夫監事）**  
 去る5月9日日本学において、武富和夫監事、針谷光二監事、乗本卓夫監事の3名で監査を行い、平成21年度同窓会業務並びに会計の収支決算につき、証拠書類等正しく執行されていると認められた。

拍手で承認

**第三号議案 平成22年度事業計画（案）**  
**（相見総務部長）**

平成22年度発行の名簿は、個人情報保護法が制定され厳守するため時間が費やされ発行が遅れた。この会員情報は本部として安全に管理するよう邁進する。

次年度の130周年記念事業は、同窓会

**全国支部総会への派遣報告**

支部・連合会	開催日
東京多摩支部総会	平成21年06月28日(日)
福島県支部総会	平成21年07月05日(日)
大阪府支部総会	平成21年07月25日(土)
広島県支部総会	平成21年08月02日(日)
新潟県支部総会	平成21年08月08日(土)
千葉県支部総会	平成21年08月09日(日)
兵庫県支部総会	平成21年08月29日(土)
茨城県支部総会	平成21年09月04日(金)
香川県支部総会	平成21年09月05日(土)
群馬県支部総会	平成21年10月04日(日)
九州連合会	平成21年10月17日(土)
宮城県支部総会	平成21年10月17日(土)
栃木県支部総会	平成21年10月18日(日)
山梨県支部総会	平成21年10月28日(水)
佐賀県支部総会	平成21年11月08日(日)
熊本県支部総会	平成21年11月14日(土)
静岡県支部総会	平成21年12月05日(土)
長野県支部総会	平成21年12月12日(土)
京都府支部総会	平成22年03月06日(土)
三重県支部総会	平成22年03月27日(土)

以上20支部

- も支援協力をするのが代議員会でも了承されている。多くの同窓生の参加で記念すべき祝賀式典となるように、温かいご支援をお願いする。
- 実施事業予定**
- 1 平成22年度代議員会、懇親会開催・平成22年7月24日(土) 本日、母校B棟4階411講義室にて代議員会、むらさきにて懇親会開催予定
- 2 母校130周年記念事業…同窓会名簿発行(平成22年度発行予定)
- 3 母校130周年記念事業への協賛・平成23年5月10日(130年宣言)、9月18日帝国ホテルにて式典・祝賀会を行う
- 4 同窓会館建設準備
- 5 役員会及び委員会等の開催
- 6 支部強化活動

- (1) 代議員会不参加支部に対して、代議員会参加の要請)
- (2) 支部総会への派遣
- 7 会報41号発行・平成23年1月発行予定
- 8 第26回母校学術交流会(母校にて開催)への協賛
- 9 大学への支援
- (1) 母校学術交流会への協賛
- (2) 梅野信吉賞へ記念盾及び副賞を贈呈
- 10 学生会員(準会員)への関連事業
- (1) 入学祝い
- (2) 卒業祝い
- (3) 同窓会褒賞…四学科各1名
- (4) 大学祭への援助
- (5) 奨学生候補者の選考
- (6) 就職支援活動
- 11 その他…

- (1) 同窓生各種集会への個人名簿およびタックスの提供は申請書に記載し、郵送かファックスで申し込み願います。問い合わせは事務局まで。
- (2) 支部総会への本部役員等の派遣は、事前に本部へ希望等を相談していただきたい、事後承諾による旅費等の支給はできません。

**第四号議案 平成22年度収支予算（案）**  
**（寺田経理部長）**

平成22年度一般会計収支予算書（案）  
 （平成22年4月1日～平成23年3月31日）  
 第三号議案、第四号議案  
 拍手により承認

**第五号議案（役員変更）**

副会長を辞任…藤田満（食品科学）  
 副会長に就任…山内直文（食品科学）  
 常務理事を辞任…新井敏郎（東京）、高木和夫（東京）  
 常務理事に就任…湯本典夫（東京）

理事を辞任…高木和夫（東京）、牧富男（東北）、大山道夫（関東甲州）  
 鎌田知能（関東甲州）、川村正道（東京）、万場良子（食品科学）

理事に就任…藤田毅彦（東北）、天野三幸（東京）、吉見達也（東京）  
 塚田明（関東甲州）、伊藤豊（関東甲州）、水谷渉（関東甲州）  
 他の常務理事、理事は再任された。

拍手により承認

第 4 号議案 平成22年度収支予算（案）

平成22年度一般会計収支予算書（案）

平成22年 4 月 1 日から平成23年 3 月31日まで

収入の部			
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
1 同窓会費	7,200,000	8,700,000	△ 1,500,000
2 入会金	19,050,000	18,400,000	650,000
3 諸収入	8,118,104	82,000	8,036,104
利息	4,000	12,000	△ 8,000
寄付金	60,000	60,000	0
名簿発行積立金取崩	8,044,104	0	8,044,104
雑収入	10,000	10,000	0
当期収入合計(A)	34,368,104	27,182,000	7,186,104
前期繰越収支差額	6,808,689	6,644,049	164,640
収入合計(B)	41,176,793	33,826,049	7,350,744

第 2 号議案 平成21年度収支決算

平成21年度一般会計収支決算書

平成21年 4 月 1 日から平成22年 3 月31日まで

収入の部			
科 目	予算額	決算額	差 異
1 同窓会費収入	8,700,000	6,000,000	2,700,000
2 入会金収入	18,400,000	18,600,000	△ 200,000
3 諸収入	82,000	103,699	△ 21,699
受取利息	12,000	3,699	8,301
寄付金	60,000	100,000	△ 40,000
雑収入	10,000	0	10,000
当期収入合計(A)	27,182,000	24,703,699	2,478,301
前期繰越金	6,644,049	6,644,049	0
収入合計(B)	33,826,049	31,347,748	2,478,301

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
1 事業費	23,000,000	12,300,000	10,700,000
会誌発行費	0	0	0
名簿発行費	9,000,000	2,000,000	7,000,000
会報発行費	4,500,000	3,500,000	1,000,000
事業推進費	200,000	200,000	0
支部助成費	700,000	700,000	0
学生会員援助費	3,700,000	3,700,000	0
学術振興費	1,200,000	1,500,000	△ 300,000
就職対策費	200,000	200,000	0
渉外費	300,000	300,000	0
慶弔費	200,000	200,000	0
130周年記念事業準備費	3,000,000	0	3,000,000
2 会議費	5,000,000	5,000,000	0
代議員会議費	4,000,000	4,000,000	0
役員会議費	1,000,000	1,000,000	0
3 事務費	7,400,000	7,400,000	0
事務手当	4,000,000	4,000,000	0
旅費	1,500,000	1,500,000	0
印刷費	200,000	200,000	0
通信費	300,000	300,000	0
振替・振込手数料費	100,000	100,000	0
器具備品費	300,000	300,000	0
ホームページ管理運営費	800,000	800,000	0
消耗品費	100,000	100,000	0
雑費	100,000	100,000	0
4 特別会計繰入金	4,391,630	8,801,217	△ 4,409,587
名簿発行引当金	10,000	2,000,000	△ 1,990,000
同窓会館積立引当金	2,000,000	5,000,000	△ 3,000,000
奨学基金引当金	10,000	10,000	0
退職給与引当金	102,200	102,200	0
記念事業積立引当金	2,000,000	1,500,000	500,000
減価償却引当金	269,430	189,017	80,413
5 予備費	1,385,163	324,832	1,060,331
当期支出合計(C)	41,176,793	33,826,049	7,350,744
当期収支差額(A-C)	△ 6,808,689	△ 6,644,049	△ 164,640
次期繰越収支差額(B-C)	0	0	0

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異
1 事業費	12,300,000	7,282,841	5,017,159
会誌発行費	0	0	0
会報発行費	3,500,000	341,460	3,158,540
事業推進費	200,000	0	200,000
支部助成費	700,000	531,000	169,000
学生会員援助費	3,700,000	2,998,450	701,550
学術振興費	1,500,000	1,989,370	△ 489,370
就職対策費	200,000	0	200,000
渉外費	300,000	240,000	60,000
慶弔費	200,000	0	200,000
名簿発行準備費	2,000,000	1,182,561	817,439
2 会議費	5,000,000	3,585,334	1,414,666
代議員会議費	4,000,000	3,010,094	989,906
役員会議費	1,000,000	575,240	424,760
3 事務費	7,400,000	4,789,254	2,610,746
事務手当	4,000,000	2,537,876	1,462,124
旅費	1,500,000	874,460	625,540
印刷費	200,000	71,926	128,074
通信費	300,000	416,413	△ 116,413
振替手数料	100,000	43,375	56,625
器具備品費	300,000	0	300,000
ホームページ管理運営費	800,000	756,000	44,000
消耗品費	100,000	84,656	15,344
雑費	100,000	4,548	95,452
4 特別会計繰入金	8,801,217	8,881,630	△ 80,413
名簿発行引当金	2,000,000	2,000,000	0
会館建設引当金	5,000,000	5,000,000	0
奨学基金引当金	10,000	10,000	0
退職給与引当金	102,200	102,200	0
記念事業積立引当金	1,500,000	1,500,000	0
減価償却引当金	189,017	269,430	△ 80,413
5 固定資産取得費	0	0	0
6 予備費	324,832	0	324,832
当期支出合計(C)	33,826,049	24,539,059	9,286,990
当期収支差額(A-C)	△ 6,644,049	164,640	△ 6,808,689
次期繰越収支差額(B-C)	0	6,808,689	△ 6,808,689

閉会…吉田事務局長より閉会宣言  
終了後、高木常務理事に対し同窓会本部署員として長年の功績に感謝し表彰が行われた。



むらさきにおいて懇親会

## 事務局だより

### ○母校創立130周年記念同窓会名簿

昨年11月に住所の判明している全会員へ発送しました、手元に届いたでしょうか。「あて所に尋ねあたりません」「転送期間が過ぎています」「町名が変更になっていません」などの理由で二百余りが返送されました。お心当たりの方は住所の変更登録をお願いします。

二万余名の名簿電子化に伴いミスが各所

にみられ、校正に十分な注意を払っていましたが、見落としや名簿管理ソフトの欠点等でご迷惑をおかけした方々に深くお詫び致します。今後ソフトの機能向上を図り、より完全な名簿管理を目指します。

クラス会などで名簿を作成されましたら本部へ一部お送りください、より正確な名簿作りの資料とします。

名簿の訂正シール、および氏名、住所変更等の一覧を本会報に同封いたしました。次回の名簿発行は2014年を予定しております。

### ○郵送ラベル提供サービス

名簿の電子化により、郵送ラベルの提供が可能となりました。支部会、クラス会などでサービスを希望する場合は、代表者が同窓会本部・会長宛へ申請書を提出してください。

申請書には代表者氏名、卒業学科、卒業期、住所、電話番号、メールアドレスおよび使用目的を記載し、ファックス等で事務局へお送り下さい。事務局で調査後、代表者本人へ確認の電話連絡を致します。本人確認が終了した後に会長へ申請書を提出します。会長の承認が得られた場合は「申請された氏名、住所」のデータをお渡しします。申請した目的以外に使用されますと会則違反となりますのでご注意ください。なお、申請書の請求は本部へ連絡いただけ

ばファックスでお送りします。

### ○会費納入のお願い

本会の事業は、会員の会費によって運営されています。振り込み取扱票が同封されている場合は個人で会費の納入をお願いします。なお、取扱票が同封されていない会員は所属支部の指示に従って会費納入をお願いします。

取扱票にはお忘れなく郵便番号、住所、氏名を、通信欄には卒業学科、卒業期（封筒の区分）、住所等に変更のある場合は有に○を明記してください。

### ○住所変更

氏名、住所等の変更は速やかに本部へ報告願います。会報等の発送に使用しておりますので、最新の住所が必要となります。

個人情報保護法で原則として個人申告となっておりますが、支部、同期会等からの届け出も情報として採用しています。

### ○母校130周年記念講式典と祝賀会のお知らせ

40号会報などでもお知らせしていましたが、本年は母校130周年記念の年にあたります。大学主催の記念式典および祝賀会が平成23年9月18日（日）に多くの来賓をお招きし帝国ホテルで開催される予定です。

同窓会では前日の9月17日（土）に代議員会を開催し、理事、監事、代議員には翌日の記念式典・祝賀会へ出席していただくよう計画しています。

同窓会員の中で記念式典・祝賀会へ参加を希望される方は、はがきにて同窓会本部へ申し込みください。表に「記念式典・祝賀会」と朱記し、裏に卒業学科、卒業期、氏名、住所、電話番号をお忘れなく記載して申し込みください。電話、ファックス、手紙等での申し込みは無効となります。

なお、当日参加される方はネクタイ着用となります。会場の関係で申し込みが多数の場合は抽選とさせていただきます。参加者には詳細が決定次第ご案内状を差上げます。

### ○同窓会本部への連絡

住所変更、氏名変更、勤務先変更および同期会等の連絡は氏名、住所、卒業期を明記の上、電子メール(dosokai@nvluc.jp)、ファックス(0422332916)あるいは郵便等で連絡ください。

### ○次に該当される方は本部へご連絡ください。

他大学で博士号、修士の学位を授与された方。  
国会議員、市町村長、県議会議員等に選出された方。叙勲を授与された方。  
ご逝去された方。

○お願い

下記の方、あるいは消息等をご存知の方は本部へご連絡ください。

2004 年名簿に記載されていた V 35 の加藤実、塩野浩紀および V 36 の瀧澤浩子、原田恵美（関根）（以上敬称略）の 4 名。

同窓会関係情報

学位取得者（敬称略）

獣医学専攻 博士課程

- 甲第 134 号 熱海 博子（魚病学）
甲第 136 号 越智 広樹（獣医外科学）
甲第 137 号 小林 正典（獣医放射線学）
甲第 138 号 田熊 大祐（魚病学）
甲第 139 号 宮川 優一（獣医内科学）
甲第 140 号 安富 舞（比較動物医学）
乙第 282 号 高橋 欣也（獣医微生物学）
乙第 288 号 森岡 一樹（獣医微生物学）
乙第 289 号 豊永 真理（獣医臨床繁殖学）
乙第 290 号 中川 清志（獣医内科学）
乙第 291 号 寺沢 文男（獣医生理化学）
応用生命科学専攻 博士前期課程
第 15 号 北山なつみ（食品衛生学）
第 16 号 田端 秀美（動物生理制御学）
第 17 号 土田さやか（実験動物学）
第 18 号 土橋 悠（実験動物学）

平成 22 年度入試 地区別入学者 一覧表 (学士入学者除く)

Table with 6 columns: 地区, 獣医学科, 獣医保健看護学科, 動物科学科, 食品科学科, 地区 計. Rows include 北海道, 東北, 関東甲信越, etc.

母校入学試験結果

平成 22 年度の母校入学試験の倍率および地区別の入学者は次のような結果であった。

- 第 19 号 原田 溪介（食品衛生学）
第 20 号 柚木 努（乳肉利用学）
第 21 号 和田 智子（動物生理制御学）
第 22 号 和知 聡（動物栄養学）

平成 22 年度入試 倍率 一覧表

Table with 6 columns: 学科, 受験者数 (平成22年度, 平成21年度), 合格者数 (平成22年度, 平成21年度), 倍率. Rows include 獣医学科, 獣医保健看護学科, 動物科学科, 食品科学科.

母校近状

○新任（平成 22 年 4 月 1 日付）
母校教員人事（敬称略）

- 教授 高橋 敏雄（獣医微生物学）
講師 松原 孝子（獣医保健看護学臨床部門）
助教 氏家 誠（獣医感染症学）
小林 史幸（食品工学）

助手

○昇任（平成 22 年 1 月 1 日付）
鳴原 果映（付属動物医療センター）

- 教授 田口 文広（獣医微生物学）
教授 鈴木 浩悦（獣医生理学）
鷲巢 月美（獣医臨床病理学）
竹村 直行（獣医高度医療学）
准教授 齊藤 賢一（食品健康環境学）
倉田 修（魚病学）

※（ ）内は指定校推薦

※第 2 回一般入試は追加合格者を含む

時田 昇臣 (動物栄養学)  
 撫 年浩 (動物栄養学)  
 講師

水谷 尚 (獣医内科学)  
 余戸 拓也 (獣医外科学)  
 藤澤 正彦 (獣医保健看護学基礎部門)

○昇任 (平成22年10月1日付)  
 教授

小山 秀一 (獣医内科学)  
 藤田 道郎 (獣医放射線学)

○配置換 (平成22年4月1日付)  
 教授

獣医感染症学 田口 文広 (獣医微生物学)  
 准教授

○退職 (平成22年3月31日付)  
 准教授

後藤 公彦 (食品バイオテクノロジー)  
 助手

池田 耕二 (付属動物医療センター)  
 ○定年退職 (平成22年3月31日付)  
 教授

鈴木 勝士 (獣医生理学)  
 澤田 拓士 (獣医微生物学)  
 畑井喜司雄 (魚病学)  
 稲垣 敏夫 (物理学)

○名誉教授の称号授与 (平成22年4月1日付)  
 教授  
 鈴木 勝士 (獣医生理学)

澤田 拓士 (獣医微生物学)  
 畑井喜司雄 (魚病学)  
 稲垣 敏夫 (物理学)

■学生表彰 (敬称略)

学長賞、社団法人獣医師会褒賞、日本畜産技術士会会長賞、同窓会会長賞は各最終学年の学生を対象として選出され、武蔵野賞は各学年から3名が選出される、櫻賞は年間を通して活躍した団体へ贈られる。授与は、最終学年では学位記授与式にて表彰され、在学生では入学式にて表彰された。対象は平成21年12月～平成22年11月までである。

(1) 学長賞

獣医学科	前田 まりか
獣医保健看護学科	市堀 あさき
動物科学科	諏訪 聖哉
食品科学科	細野 真澄
社団法人 日本獣医師会褒賞	
獣医学科	眞壁 七恵
(3) 日本畜産技術士会会長賞	
動物科学科	高村 麻子
(4) 同窓会会長賞	
獣医学科	曾宮 陽子
獣医保健看護学科	檀上 理沙
動物科学科	西田 奈美子
食品科学科	古川 萌
(5) 武蔵野賞	

獣医学科2年	萩原文乃
同	高木 毬子
同	越智 葵
獣医学科3年	戸上 絵理
同	藤山 理子
同	池谷 早代
獣医学科4年	赤津 佳菜子
同	鵜飼 正保
同	中川 朋子
同	八木 智子
獣医学科5年	佐藤 由佳
同	中井 悠華
同	飯森 麻衣
獣医学科6年	芳網 慶
同	井上 元
同	山崎 美咲
同	大江 友美
同	兼田 裕希
獣医保健看護学科3年	石田 沙恵
同	大瀧 すみれ
同	岡村 恵里子
同	内田 翔子
同	栗田 百合子
同	黒田 ゆうび
同	石井 春加
同	岡崎 綾乃
同	宇留野 やよい
同	長谷川 悦子
同	小渕 智子
同	西田 匡宏



(6) 櫻賞

動物科学科4年	長野 春香
同	熊谷 明日香
同	丸山 徹歩
食品科学科2年	土屋 りえ
同	安西 めぐみ
同	神田 詩織
食品科学科3年	井上 航
同	佐々木 友理恵
同	高橋 洋平
食品科学科4年	眞壁 友里子
同	花石 智子
同	中森 梨紗
居合道同好会	

## 平成 21 年度 獣医師国家試験について

第 60 回（平成 21 年度）国家試験は平成 22 年 3 月 2、3 日に行われ、その結果が 3 月 18 日に発表された。

本学の新卒者 87 名中 86 名が合格し、合格率 98・9%（新卒者全国平均 92・3%）は、帯広畜産大学、東京大学（ともに 100%）に次ぐ、第 3 位（全国 16 大学）、受験者の平均点は第 1 位で、また個人総合成績の第 1 位も本学の卒業生であった。

前年度の新卒合格率 75・3%（全国 16 位）という成績から、1 年で劇的に改善する結果であった。前年度の不成績の反省から、清水学部長を委員長とする国家試験対策委員会が中心となり、国家試験対策を大幅に見直した結果が奏功したものと考えられる。前年度からの改善点として、総合獣医学講義内容やその試験問題の見直し、卒業論文提出時期や試験日程の前倒し、土曜学校の開講、進級規定の厳格化などを実施した。また、教育推進室を設置し、学生の国家試験対策委員会との連絡を密にし、教員、学生一体で国家試験対策に取り組んだことも大きな力となった。

今年度（第 61 回）は、国家試験の開催が 2 月下旬で、例年より 2 週間程度早まる予定で、それに合わせて、卒業論文の提出時期、総合獣医学試験日程などを、さらに早めることとし、学生が国家試験に向け十分に勉強の時間が取れるように配慮している。今年度以降も全国トップレベルの合格率が維持できるものと期待される。

## 第 26 回 学術交流会が開催された

学術交流会は、本学の同窓生と教職員とがともに学び合い、親睦を図ることを目的とした学会である。昨年度は、広島市において第 25 回学術交流会が開催された。今年度の第 26 回学術交流会は、本学内の動物医療センター・C 棟 5 階と 4 階の講義室等を利用して、11 月 13 日土曜日の午前 10 時から午後 5 時まで開催された。

開会式では、池本学長および中條同窓会長の御挨拶があり、その後、二会場に分かれて、獣医保健看護学科の松原孝子講師による「我が国における動物看護専門職の現状と課題」と食品科学科の藤澤倫彦教授による「腸内の細菌とプロバイオティクスの整腸作用」



の教育講演が行われた。12 時から、学術交流会の評議員会が開かれ、会計報告および来年度の開催案などの報告が行われた。午後 1 時からは、獣医保健看護学科の石岡克己准教授による「小動物の内視鏡検査の基本編」と日本大学の巨敏広教授による「小動物の内視鏡検査の実践編」、また、株式会社 DNA フォームの向後泰司先生による「遺伝子解析技術の獣医畜産領域への応用」と獣医学科の山本一郎助教による「消化管におけるグレリン受容体ファミリーの遺伝子解析」の四つの教育講

演が行われた。さらに、午後 3 時 30 分から、ポスター形式による研究発表会が実施された。今回は、本学の学生を中心に合計 14 題の発表があり、獣医学部基礎部門、獣医学部臨床部門および応用生命科学部門の 3 部門に分けて、それぞれの部門から優秀な研究発表一題が選ばれ、夕方の懇親会の中で、これら 3 名の発表者に対して、それぞれ表彰状と同窓会からの賞金 1 万円が授与された。

午後 5 時からは、本学の「むらさき」にて懇親会が開催され、とてもなごやかな雰囲気の中で同窓生と教職員との親睦を計ることができた。



今回の学術交流会では、教職員84名、同窓生が13名、学生33名および一般の方4名の合計134名の参加があった。来年度以降、同窓生の参加数のさらなる増加を計るための努力が必要であると感じられた。

平成22年度

梅野信吉賞受賞者決定

第3回目にあたる平成22年度梅野信吉賞の受賞者は、獣医臨床病理学教室の盆子原誠講師に決定した。

盆子原講師は平成5年3月に本学獣医学科を卒業(大学・獣医41期)、東京大学で学位(博士)取得し、アメリカ・テキサス大学医学部サウスウエストンメデイカルセンターでポストドク研究員を務めた後、本学獣医学科獣医臨床病理学教室に赴任された。授賞した研究課題は「肥満細胞腫における腫瘍化分子機構の解明と分子標的薬による腫瘍の排除」で、本研究は肥満細胞において腫瘍発生の要因となる異常なチロシンキナーゼ活性を引き起こす責任遺伝子を同定し、腫瘍の発生、増悪機構を明らかにすることを目的としたもので、これらの解析から、新たな治療薬の開発につながようとする独創的な

研究である。腫瘍発生の分子機構の解析という基礎研究を臨床応用につなげるという重要な側面も併せ持つ意義ある研究である。猫および犬の肥満細胞腫において膜型のチロシンキナーゼEGFRの塩基配列を解析した結果、猫の肥満細胞腫では68%の腫瘍においてEGFR変異が見られることが明らかとなり、その遺伝子の部位の特定にも成功し、この変異は、分子標的薬イマチニブの作用に著しい影響を与えることが明らかとなり、イマチニブの猫肥満細胞腫の治療薬としての道を拓く結果につながった。実際に、猫の肥満細胞腫に対してイマチニブの臨床試験を行った結果、EGFRおよび9に変異を有する肥満細胞腫の臨床例でイマチニブの高い薬効が示されることを証明した。培養細胞などを使ったin vitroの試験だけでなく、実際の動物を使った実験で、有用な分子標的薬を見つけたという点で、学術的な評価とともに、臨床に応用可能な知見を生み出したという点で極めて高い評価を受けることとなった。獣医臨床のレベルを確実に高めたという点でも高く評価される研究である。

授賞式は平成22年4月6日に挙行された入学式の中で執り行われ、池本卯典学長から賞状と副賞(同窓会の後

授)が授与された。

平成21年度 卒業生就職状況

平成21年度卒業生の就職状況を学科別に見ると、次のようにな結果であった。

獣医学科では、小動物臨床の個人開業動物病院に代診として51・3%が勤め、相変わらず根付良い人気となっている。

獣医保健看護学科では、本学付属動物医療センター等をはじめとする小動物臨床の個人開業動物病院の動物看護師として50・7%が就職している。

動物科学科では、畜産業・農業関連、動物関連サービス業等多岐に亘り就職している。

食品科学科は、例年同様食品製造関係へ約37・5%の卒業生が就職している。

最終的な就職希望者の就職率は獣医学科が82・9%、獣医保健看護学科91・3%、動物科学科100%、食品科学科が96・9%であった。

平成21年度 学位記授与式

平成22年3月11日(木)午前10時から、日本獣医生命科学大学「平成21年度学位記授与式」がアリーナ(体育館)において挙行された。

獣医生命科学研究所獣医学専攻博士課程修了者及び論文審査合格者14名、また、応用生命科学専攻博士前期課程修了者10名、さらに、獣医学科87名、獣医保健看護学科87名、動物科学科68名、食品科学科80名の計346名に学位記が手渡された。



### 平成22年度 入学式

平成22年4月6日(火) 午前10時から、日本獣医生命科学大学「平成22年度入学式」がアリーナ(体育館)において挙行された。

獣医生命科学研究科の大学院生24名(獣医学専攻博士課程6名、獣医保健看護学専攻修士課程10名、応用生命科学専攻博士前期課程6名、同後期課程2名)、獣医学科99名(学士3名含む)、獣医保健看護学学科99名、動物科学科89名、食品科学科94名の新入生計405名が入学された。



### 平成22年度 体育祭を武蔵野競技場にて開催

平成22年10月7日(木) 秋晴れのもと武蔵野陸上競技場において、体育会クラブを中心とした学生約300名が参加し、各チームとも日頃の成果を発揮するべく各種目に汗まみれで取り組んでいた。

学科対抗綱引の二コマ



### 平成22年度 動物慰霊祭を挙行政

平成22年10月28日(木) 正午より本学「仁畜の碑」前にて、平成22年度動物慰霊祭が、無宗教献花方式をもってしめやかに執り行われた。開式の言葉に続き黙祷が捧げられ、学長及び学生代表の野生生物研究会部長より、追悼の言葉が読み上げられた。さらに、学長、大学院獣医生命科学研究科長、獣医学部長、応用生命科学部長、動物医療センター院長、牧場長、生命科学共同研究施設長、動物実験委員長、学生代表による指名献花の後、教職員、学生等約300名の参列者が、動物達の冥福を祈った。



### 平成22年度 日獣祭を開催

第61回日獣祭は平成22年10月30日(土)～31(日)の2日間にわたり開催された。台風の影響もあり非常に激しい雨と風の影響で、模擬店等一部時間を変更して実施されたが、学生達は1年間この日のために準備してきたので非常に落胆した様子だった。

母校の吹奏楽団「愛奏会」の熱演



### 創立百三十周年を祝って

日本獣医生命科学大学学長

池本 卯典



新年おめでとうございます。昨  
年中は種々御高配を賜り、無事に  
1年が終りました。今年もお世話  
になることが多いと思いますが、  
何卒よろしく御指導下さい。

#### ○開学の曙

明治14年9月15日、文京区音羽  
の名刹護国寺の別院（伝通院説も  
ある）の一隅を借りて開設した私  
立獣医学校は、私立最初の獣医学  
教育機関として9名の青年獣医官  
によって創立されていから本年で  
満130年となりました。

ご案内とは思いますが、9名の  
獣医官は明治維新直後の日本陸軍  
が軍馬の重要性、糧秣の確保には  
獣医師（当時は獣医）の支援が不

可欠とし、明治10年1月に創設し  
た馬医学舎の前身で兵学寮第二舎  
が募集した馬医学生達です。入学当  
時は兵学寮、卒業時には馬医学舎  
（修学年限3年）出身の三等馬医

生または二等馬医学生で、いずれも  
30才未満の青年獣医官であり、設  
立総代の田澤直孝三等馬医学生は弱  
冠21才2ヵ月、東京府の士族で漢  
学を修めてからの獣医志望でし  
た。学校長には、後に東京鎮台獣  
医部長に栄進された荒井義通獣医  
監を迎えています。荒井校長は独  
学で佛語を修得し、日本陸軍が佛  
国獣医学を導入するに当って招聘  
した、アングロ二等獣医の講義を  
通訳された卓抜した語学力と獣医  
学術を具えた獣医官でした。

以来、2度の休校を経ながら、  
東京獣医学校・特別認可東京獣医  
学校（新宿区市谷加賀町・新宿区  
河田町）、日本獣医学校（目黒区  
中目黒）、日本高等獣医学校・日  
本獣医畜産専門学校、日本獣医畜  
産大学・日本獣医生命科学大学と  
進化し昭和13年以降は現在地で発  
展を遂げてきました。その経緯は

130周年記念小史を発刊します  
ので、後日抄読して頂きたく存じ  
ます。

#### ○日本獣医生命科学大学の現在

平成15年に獣医学部と応用生命  
科学部の2学部制、平成17年に獣  
医保健看護学科を設置して2学部  
4学科、大学院は各学科に各々博  
士課程、博士課程前期、後期を置  
き、高度獣医学及び生命科学の研  
究者、専門職及び教育者予備軍の  
育雛に努めております。

学生数は全学科いずれも定員80  
名で、総定員1,440名、しか  
し、1・2%の範囲で入学を許可  
し、学生総定員は1,629名と  
なりました。その内女子学生99  
5名、男子学生634名と、女子  
学生が多数を占め、まさに女子大  
学の観なきにしも非ずといえまし  
よう。

大学財政の概略は以下のよう  
です。収支差額は獣医学部が約6億  
円、応用生命科学部が約1億5千  
万円であり、ほぼ毎年この程度の  
収支差額を出しています。この中

#### 平成21年度（概略）

（単位：円）

	帰属収入	消費支出	差 額	ソース
法人全体	78,848,446,498	77,007,783,251	1,840,663,247	H21年度財務計算書類（決算書）
日本獣医生命科学大学	4,371,518,678	3,624,205,433	747,313,245	H21年度（大学）消費収支計算書
獣医学部	3,062,341,022	2,469,048,027	593,292,995	H22年度（大学）消費収支計算書
応用生命科学部	1,309,177,656	1,155,157,406	154,020,250	H23年度（大学）消費収支計算書
日本獣医生命科学大学				
学生数	1,666	(大学院62名含む)		学校法人HP（学部別在籍学生数）
教職員数	176			H21年度事業報告書
学生生徒等納付金比率	66.1%	(学生生徒等納付金収入÷帰属収入)		H22年度（大学）消費収支計算書

には、文部科学省からの経常費補助金が5億円近く含まれていますので、さらに儉約し、収支差額の増額を図らねばならないと考えているところです。

教学面では、昨年の獣医師国家試験合格率は約99%で全国16獣医系大学中第2位、就職状況は平成21年度は獣医学科は81・6%、獣医保健看護学科は91・3%、動物科学科100%、食品科学科91・5%（求人社数641社：卒業生は約350名）となりました。

文部科学省の平成22年度科学研究費補助金は、申請数82件、採択数25件、申請数及び採択数共に開学以来最多となりました。因みに平成15年度は申請数66件、採択数15件でした。近年の主な外部資金の導入額は、ハイテク・リサーチ整備事業に2億4、000万円（H16～H21）、学術フロントエリア推進事業に2億5、800万円（H17～H22）、私立大学研究基盤形成支援事業に4億1、000万円（H20～H25：実質補助額50%）、社会人の学び直し教育

推進プログラム40、725千円（H19～H22）であり、獲得実績は着々と上昇しているといえますよう。

国際交流は法人の国際交流委員会の支援等を含め、年毎に活発となりました。現在、外国との交流協定大学は、タイ4大学、中国2大学、韓国・ベトナム・台湾・ニュージーランド・オーストラリアに各1大学の合計11大学となりました。平成22年度在籍大学院生11名、平成13年以降の博士授与者12名、平成21年度の法人日本医科大国際交流委員会の受入れによる本学留学生は、研究者10名、学生21名であります。

国策として30万人留学生確保と宣言されていますが、私立大学の留学生に対する助成額は希薄であり留学希望者に即応することは難しいのが現状です。

本学の教員数は121名、職員数は67名（保守管理は大和サービスKKに外注）であります。総務・人事・管財・財務・企画・監査・開発推進の各部門は法人に一

元化され、本学は法人の各局部に依存しています。

○130周年記念事業

日本獣医生命科学大学の定めた創立記念日は5月10日（火）、その当日に130周年宣言を行う予定です。全日本獣医生命科学大学人は挙げて、学是、到達目標を尊重すると同時に、教育理念を全うすることを未来永劫宣誓致します。

記念祝賀会は9月18日（日）に帝国ホテルで実施する予定です。当日、皇族方の御出席を戴き、記念講演は評論家田原総一朗氏を予定しています。

記念事業としては、食品科学科・動物科学科・獣医保健看護学科、並びに数年後に予定されている日本医科大学医学部1年生の教育施設を含めた新教育棟新設計画があります。同時に小規模とはいえ運動場と馬場を整備した体育施設も必要です。それには西東京市田無の東京大学農学部付属農場のサテライトを譲り受ける基本合意

は成立し、準備中であります。

建設資金は約48億円、主として第2校舎の売却益で充当し、不足分は年間1億円の寄付金（5年間継続）、及び自助努力による収支差額の増額等によって賄いたいと考えているところです。いずれにしても、同窓生諸兄のご協力にも頼らざるを得ません。何卒よろしくお願い申し上げます。

末辞になりましたが、同窓生諸兄の御多幸を心からお祈りし、新年の挨拶にかえさせて頂きます。

母校の図書館をご利用ください

同窓生は本学図書館を利用いただけます。来館の際は身分を証明するものをご持参ください。

利用可能なサービスは、本学所蔵資料の検索（OPAC）、閲覧、複写（電子ジャーナルはコピーカードを利用し、館員が代行しプリントすることが可能）。

現金の場合は1枚につき52円を業者へ支払います。

利用時間は月々金曜が9時～21時（17時までに来館ください）、土曜は9時～15時30分です。なお、定期試験時には学生で混雑しますので遠慮ください。詳しくは図書館HPのスケジュール表をご覧ください。

休館は日曜・祝日、春季・夏季・冬季の一定期間、大学祭当日、入学試験時です。